

株主の皆様へ

第51期事業報告書

平成15年4月1日～平成16年3月31日

Safety & Relief

安全安心な素材と
ライフスタイルとの調和

快適Life



南海プライウッド株式会社



安全安心な素材と
ライフスタイルの調和 快適 Life

企業理念

美しさに富み、心やすらぐ

快適な住環境をつくる

「木」の再現を

求めつづけます。

会社概要

(平成16年3月31日現在)

商号	南海プライウッド株式会社
本社	〒760-0067 香川県高松市松福町一丁目15番10号 電話 087(825)3615(代表) Eメール np@nankaiplywood.co.jp http://www.nankaiplywood.co.jp
設立	昭和30年4月
資本金	21億21百万円
従業員数	353名
事業内容	建築内装材の製造・販売
事業所	志度工場 〒769-2101 香川県さぬき市志度5388番地 物流センター 〒769-2314 香川県さぬき市造田乙井170番地1 朝日新町保税倉庫 〒760-0064 香川県高松市朝日新町28番1号

役員

(平成16年3月31日現在)

代表取締役社長	丸山 徹	取締役兼執行役員	濱野 勝
代表取締役専務	山口時 弘	取締役兼執行役員	藤村 岳志
常務取締役	嶋内 幸秀	取締役兼執行役員	正箱 孝史
常務取締役	田井 雅士	取締役兼執行役員	丸山 宏
常務取締役	植田 幹夫	常勤監査役	高松 幸雄
取締役相談役	丸山 修	監査役	水野 正
取締役兼執行役員	立花 俊憲	監査役	大川 俊徳
取締役兼執行役員	小紅 正晴	監査役	岩部 達雄

連結子会社

社名	資本金	出資比率	
PT.NANKAI INDONESIA	250万USDドル	95%	木材関連事業
SENTUHAMONI SDN.BHD.	25万 ^{マレーシア} リンギット	100%	
南海システム作業株式会社	1,000万円	100%	
南海港運株式会社	4,100万円	100%	電線関連事業等
ナンリツ株式会社	4,500万円	70%	



代表取締役社長

丸山 徹

ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、第51期事業報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当期のわが国経済は、企業業績の改善を背景に徐々に回復の兆しを見せ始めましたが、失業率は依然として高水準にあり、個人消費も増加せず、デフレ経済のなか厳しい状況で推移いたしました。

住宅業界におきましては、新設住宅着工戸数の低迷状態が続くなか、建材メーカー各社が新製品の開発・販売に力を注ぎ一段と競争が激化いたしました。

このような状況下、当社は、経営環境の変化に迅速に対応できる経営機構を構築し、製品の品質改善と収益確保に向けた対策を全社員一丸となり実行いたしました。特に、海外子会社の指導を強化し生産品の品質向上と原価率の低減に取り組みました。また、収納材製品の海外子会社への生産移管が順調に進み、他社との価格競争に対応できる製品の生産が行われております。

景気は回復基調にありますが、米国の政治・経済の動向等により後退の可能性も含んでおり、今後も予断を許さない状況で推移していくと思われます。

当社といたしましては、今後とも皆様のご期待に応えるべく、資源の有効活用と生産技術力の強化ならびに製造原価低減に努め、収益向上を目指す所存であります。

株主の皆様におかれましては、何卒ご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年6月

当期の概況

当期のわが国経済は、企業業績の改善から設備投資や株価等に若干の明るさは見えてきましたが、改善の見られない雇用情勢や個人消費により、前期に引き続き厳しい状況で推移いたしました。

こうしたなかで、当社の連結業績に影響を及ぼす新設住宅着工戸数は低調のなか、金利上昇の思惑や住宅ローン減税の改正による駆け込み需要等により、前年度に比べ2.5%増の1,173千戸となりました。

このような状況下、木材関連事業、電線関連事業等とともに一段と同業他社との競争が激化するなか勝ち組企業として生き残るため、目標達成に向け懸命に努力いたしました。木材関連事業においては、改正建築基準法の施行に伴い全製品を低ホルムアルデヒド製品に切替え、住宅の嗜好の変化により減少する天井材を補うため、デザイン性と付加価値の高い収納材製品や床材製品の拡販に全力を注ぎました。一方、電線関連事業等につきましては、地域密着型の営業活動を積極的に展開し、既存のお客様の深耕や新規のお客様の開拓を推進してまいりました。以上の結果、連結業績は、売上高136億20百万円(前期比1.1%増)、営業利益191百万円(同3.4%増)、経常利益202百万円(同28.3%減)、当期純損失21百万円(前期は当期純損失1億14百万円)と二期連続の赤字と不本意な結果になりました。

次期の見通し

わが国経済は、企業の業績回復基調により回復に向けた動きが出てきておりますが、雇用や個人消費に明るさが出るまでは厳しい経営環境で推移するものと予想しております。

このような状況により、新設住宅着工戸数の動向は低調に推移し、木材関連事業、電線関連事業等ともに企業間競争が激化していくと思われま

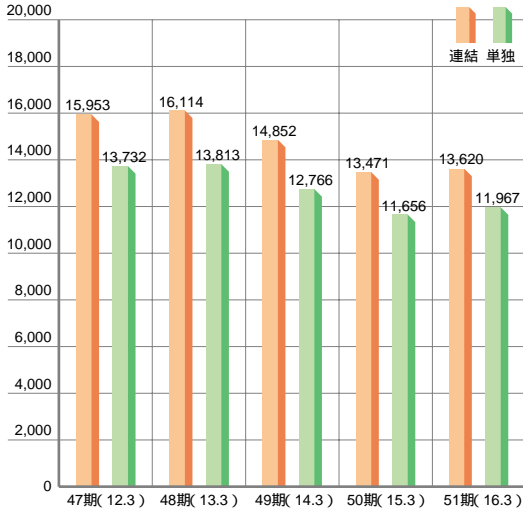
す。当社グループといたしましては、経済環境の変化を敏感に捉え迅速に対応できる経営体制のもと、グループの連携を強化していくことにより、業績の拡大を図っていく所存であります。

木材関連事業においては、海外子会社と国内工場の連携強化による効率的な生産体制を構築することにより、生産品のコストダウンと品質向上を推進してまいります。また、資源・環境問題を考慮し植林材の使用を可能にするため生産技術力の強化に取り組んでまいります。一方、電線関連事業等につきましては、引き続き積極的な営業活動を展開すると同時に経費の削減に取り組み、収益の計上できる企業を目指してまいります。

次期の連結業績は、売上高141億円(前期比3.5%増)、営業利益2億85百万円(同49.2%増)、経常利益4億20百万円(同107.9%増)、当期純利益1億75百万円(前期は当期純損失21百万円)になるものと予想しております。

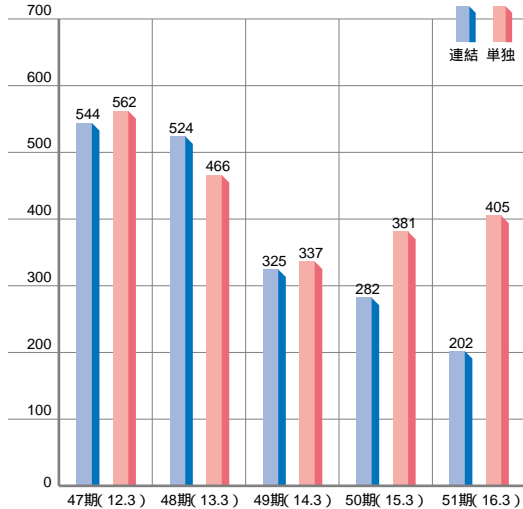
売上高の推移

(単位:百万円)

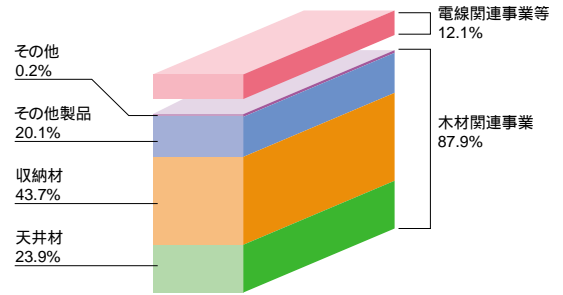


経常利益の推移

(単位:百万円)



セグメント別の連結売上高構成



新設住宅着工一戸当たりの木材関連事業の売上高推移

(単位:千円)



注) 売上高は、外部顧客に対する売上高であります。

新商品のご紹介

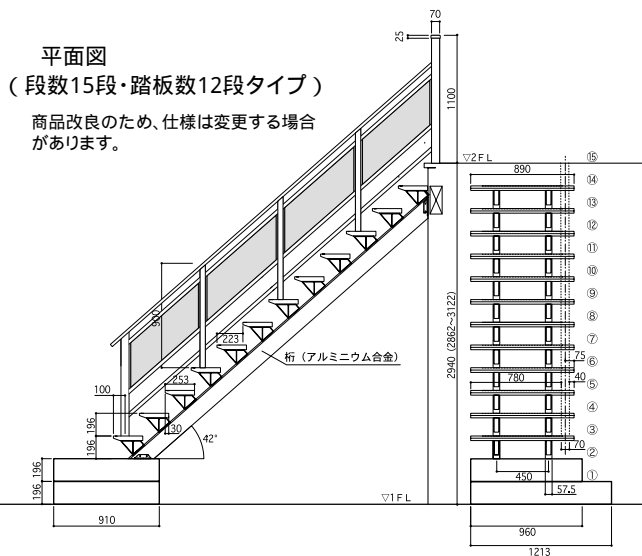
アルミ製オープン階段

シンプル&シャープなデザインで居住スペースに自然となじむ階段。アルミ製オープン階段をご紹介します。

階段部分は踏み板と桁だけというシンプルな設計ですので、視界がひらけ、室内を開放感のある空間に演出します。

桁や支柱はアルミニウム合金製で、高い強度と耐久性を兼ね備えています。また、踏板や手摺りなどの基材にはムク材を使用しておりますので、ナチュラルな素材の持ち味を活かした高級感あふれる仕上がりです。施工は上下の取り付け金具により、簡単に行えます。

さらに勾配が緩やかなので、安心して上り降りが出来ます。



Nankai Plywood
Topic

和室創造BOX

キャブロック
CABLOCK

椅子の生活と
座布団の生活の
あいだに
キャブロック
の生活。

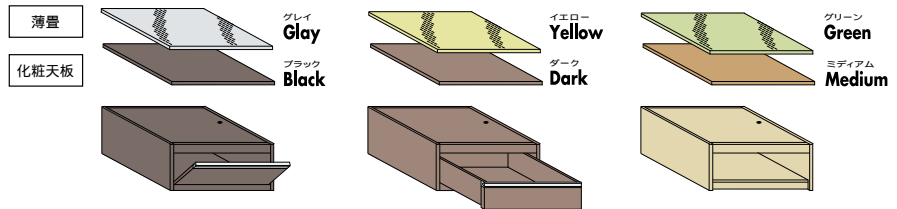


住宅環境の中で和室の役割は変化しています。昔ながらの日本家屋にある、襖で仕切れ連続した畳の間が姿を消し、床の間、仏壇、押入の設置や客間としての役割を持った畳の間という形式を経て、洋室リビングと一体になったくつろぎの場としての畳コーナーに姿を変えました。しかし、このまま畳の間が消失するわけではありません。生活様式や、そこに付随する家具や電化製品などの道具が洋式化しても“座”というくつろぎのカタチは日本人の生活の中心にあります。

このような住宅の普遍性に着目して開発されたのが、現代の生活にちょうどいい和室空間を形成でき、収納スペースの確保、位置やカタチの変化、好みのデザイン選択という付加価値を持ったユニット商品「和室創造BOXのCABLOCK」です。

豊富な
パーツバリエーション

カラーやボックスのカタチを自由にセレクト。お部屋のイメージにピッタリなのはどんな組み合わせですか。



STANDARD BOX (扉タイプ)

DRAWER BOX (引出しタイプ)

SIMPLE BOX (簡易タイプ)

表面化粧なし、扉なし

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円)

【資産の部】

科目	期別	前連結会計年度 (平成15年3月31日現在)	当連結会計年度 (平成16年3月31日現在)
流動資産		6,733	8,444
現金及び預金		1,429	976
受取手形及び売掛金		2,463	2,583
棚卸資産		2,376	2,910
デリバティブ債権		97	141
繰延ヘッジ損失			1,559
その他の流動資産		370	287
貸倒引当金		4	14
固定資産		12,689	12,981
有形固定資産		9,885	9,604
建物及び構築物		2,952	2,773
機械装置及び運搬具		1,969	2,000
工具器具備品		113	92
土地		4,765	4,738
建設仮勘定		84	
無形固定資産		295	311
投資その他の資産		2,508	3,065
投資有価証券		692	799
長期貸付金		15	12
差入保証金		1,366	1,866
その他の投資		483	424
貸倒引当金		49	38
資産合計		19,423	21,425

【負債の部】

科目	期別	前連結会計年度 (平成15年3月31日現在)	当連結会計年度 (平成16年3月31日現在)
流動負債		3,122	5,247
支払手形及び買掛金		1,392	1,265
短期借入金		977	1,271
未払金		273	383
未払法人税等		33	227
未払消費税等		37	51
賞与引当金		79	111
工場稼働停止損失引当金		173	215
デリバティブ債務			1,701
繰越ヘッジ利益		97	
その他の流動負債		58	21
固定負債		683	603
長期借入金		56	45
退職給付引当金		269	234
役員退職慰労引当金		87	61
その他の固定負債		270	261
負債合計		3,805	5,850

【少数株主持分】

少数株主持分	20	7
--------	----	---

【資本の部】

資本金	2,121	2,121
資本剰余金	1,865	1,865
利益剰余金	11,528	11,406
その他有価証券評価差額金	120	184
為替換算調整勘定	35	44
自己株式	3	55
資本合計	15,596	15,567
負債、少数株主持分及び資本合計	19,423	21,425

注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	前連結会計年度 平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで	当連結会計年度 平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで
売上高		13,471	13,620
売上原価		9,807	9,968
売上総利益		3,664	3,652
販売費及び一般管理費		3,479	3,460
営業利益		185	191
営業外収益		177	168
営業外費用		79	157
経常利益		282	202
特別利益		2	16
特別損失		370	55
税金等調整前当期純利益(損失)		84	163
法人税、住民税及び事業税		34	271
法人税等調整額		4	79
少数株主損失			7
当期純損失		114	21

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期別	前連結会計年度 平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで	当連結会計年度 平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー		1,014	4
投資活動による キャッシュ・フロー		149	541
財務活動による キャッシュ・フロー		312	129
現金及び現金同等物に 係る換算差額		40	46
現金及び現金同等物の 増減額		511	454
現金及び現金同等物の 期首残高		910	1,422
現金及び現金同等物の 期末残高		1,422	968

連結剰余金計算書

(単位:百万円)

科目	期別	前連結会計年度 平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで	当連結会計年度 平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで
資本剰余金期首残高		1,865	1,865
資本剰余金期末残高		1,865	1,865
利益剰余金期首残高		11,778	11,528
利益剰余金減少高		250	121
配当金		121	100
役員賞与		14	
当期純損失		114	21
利益剰余金期末残高		11,528	11,406

株主資本比率

72.7%

1株当たり株主資本

1,568円

個別財務諸表

貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

【資産の部】

科目	期別	前期	当期
		(平成15年3月31日現在)	(平成16年3月31日現在)
流動資産		5,692	7,501
現金・預金		884	404
受取手形・売掛金		1,647	1,815
棚卸資産		2,118	2,492
その他		1,042	2,789
固定資産		13,017	13,480
有形固定資産		8,646	8,453
建物		2,537	2,362
機械装置		1,681	1,698
土地・その他		4,427	4,392
無形固定資産		213	208
投資等		4,157	4,818
投資有価証券		584	689
長期貸付金		1,743	1,829
その他		1,829	2,298
資産合計		18,710	20,982

【負債の部】

科目	期別	前期	当期
		(平成15年3月31日現在)	(平成16年3月31日現在)
流動負債		2,465	4,689
支払手形		421	374
買掛金		393	375
短期借入金		960	1,260
未払金		259	314
その他		431	2,365
固定負債		602	532
長期借入金		-	-
その他		602	532
負債合計		3,067	5,221

【資本の部】

資本金	2,121	2,121
資本剰余金	1,865	1,865
利益剰余金	11,544	11,650
[うち当期純利益]	[2]	[206]
評価差額金	114	177
自己株式	3	55
資本合計	15,642	15,760
負債・資本合計	18,710	20,982

損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	期別	前期	当期
		平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで	平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで
営業収益		11,656	11,967
営業費用		11,399	11,669
営業利益		257	297
営業外収益		202	204
営業外費用		78	96
経常利益		381	405
特別利益		-	17
特別損失		370	54
税引前当期純利益		11	368
法人税・住民税及び事業税		7	263
法人税等調整額		2	102
当期純利益		2	206
前期繰越利益		26	53
当期末処分利益		28	260

注)1株当たりの当期純利益

21銭

20円67銭

利益処分

(単位:百万円)

科目	期別	前期	当期
		株主総会承認日 (平成15年6月27日)	株主総会承認日 (平成16年6月25日)
当期末処分利益		28	260
特別償却準備金取崩額		27	23
別途積立金取崩額		100	-
計		155	284
これを次のとおり処分します。			
株主配当金		100	119
(1株につき10円)			(1株につき12円)
取締役賞与金		-	-
監査役賞与金		-	-
特別償却準備金		1	-
別途積立金		-	100
次期繰越利益		53	65

株式の状況

(平成16年3月31日現在)

【総数】

会社が発行する株式の総数 20,000,000株

ただし、株式の消却が行われた場合は、これに相当する株式数を減ずる。

発行済株式総数 10,095,800株

株主総数 920名(前期末比25名増)

【大株主】

株主名	持株数	議決権比率
南海興産株式会社	2,943千株	30.34%
財団法人南海育英会	1,588	16.37
株式会社百十四銀行	467	4.81
丸山修	344	3.54
株式会社愛媛銀行	243	2.50
刈苅パナトリートライアツオムニス	222	2.28
南海プライウッド従業員持株会	163	1.68
北中照夫	130	1.34
株式会社百十四ディーシーカード	128	1.31
大阪証券金融株式会社	92	0.94

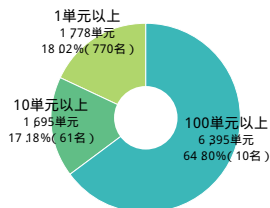
【自己株式の取得・保有】

保有自己株式数 167千株

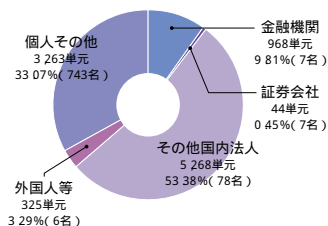
第50回定時株主総会決議による取得 150千株

単元未満株式の買取りによる取得 6千株

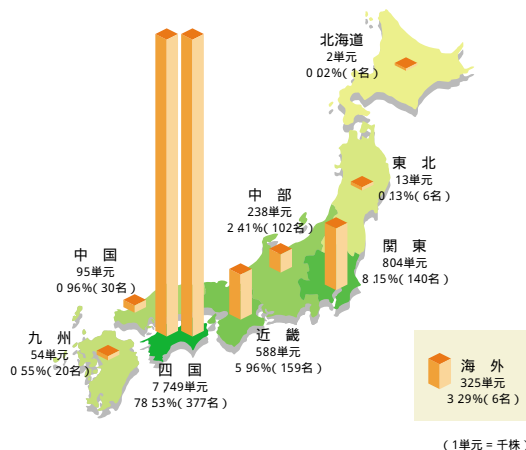
【所有単元数別分布状況】



【所有者別分布状況】



【地域別分布状況】



株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月下旬
名義書換代理人	株式会社たいこう証券ビジネス
名義書換取扱場所	〒541-8583 大阪市中央区北浜二丁目4番6号 株式会社たいこう証券ビジネス 本社証券代行部 株式事務各種問合せ ・フリーコール電話番号 0120-255-100 株式関係手続用紙請求先 ・フリーコール電話番号 0120-351-465 インターネットホームページ http://www.daiko-sb.co.jp
同取次所	株式会社たいこう証券ビジネス 各支社
上場証券取引所	株式会社大阪証券取引所 市場第二部 (証券コード 7887)
公告の方法	日本経済新聞に掲載いたします。 ただし、商法特例法第16条第3項に定める 貸借対照表及び損益計算書にかかる情報は、 http://www.nankaiplywood.co.jp/kai/kej/k-top.htm において提供しております。



Safety & Relief

安全安心な素材と
ライフスタイルの調和 快適 Life

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています